

庁議の概要

開催日 平成 20 年 12 月 24 日（水）

項 目

- 1 地域活性化・生活対策臨時交付金の活用について【総務部】
- 2 各部局等の動向について【各部局等】

内 容

- 1 地域活性化・生活対策臨時交付金の活用について【総務部】

総務部より資料を配布のうえ概要説明があり、意見交換を行った。

【概要説明】

- ・ 平成 20 年度に予定されている国の二次補正予算の中で、6,000 億円を地方に配分することになっている地域活性化・生活対策臨時交付金については、知事を筆頭に東京事務所の協力を得て、各都道府県の有効求人倍率を配分算定の指標に加えてもらうことを提案してきた結果、その提案が取り入れられ、約 115 億円という大きな額の配分予定となっている。
- ・ この額は、北海道に次ぐ全国第 2 位で、一人あたりでは全国第 1 位となる。
- ・ 早急に、各部局には、この交付金をどういった事業に向けていくかの実施計画作りへの対応をお願いしたい。
- ・ 対応への第一の視点としては、今回、地域活性化生活対策ということで示されたものなので、当然、地域の活性化、県民の生活を守る、こういった事業に使うというようなことになっている。
- ・ 国からは、大雑把な方針しか出ておらず、こういった要件に合致すれば、基本的に何でも対象になりうるというようなことだった。ただ、実際、国庫補助事業の裏負担といったものについては限定的になる。
- ・ 第二の視点は、これまで、予算の関係上、十分に実施できなかった事業についても、この際、積極的な対応ができるのではないかと考えている。
- ・ 第三の視点は、21 年度以降の事業の前倒しによって、経済効果の早期発現ということを考えていきたい。当然、後年度の負担、ランニングコストなどについても留意していく。
- ・ 経済対策の取りまとめ後となる 10 月 31 日以降の事業には、既計上予算でも対応できるというようなかたちが要綱で示されている。実施計画策定の中で、財政課が中心となって各課と調整をしていく中で、こういったものについては拾い上げていきたい。
- ・ この交付金は、2 月補正予算で全額受け入れるということになる。そのため各部局には、21 年度予算の前倒しの事業、また、新規の事業、これまで出来なかった事業を含めて、1 月 13 日までに財政課へ提出、提案をお願いしたい。
- ・ ソフト・ハード事業とも対象、全額予算を繰り越さなければならない。基本的にはハード事業中心になってしまうが、国の方で交付金の総額 3 割を基金として積んで、21 年度中のソフト事業にあてられるような格好になっている。
- ・ イメージとしては、30 億円強が基金としてソフト事業、残りの 80 億円は基本的にはハード事業ということになるのではないかと考えている。
- ・ 国によると、最終的な実施計画については、国会での補正予算成立後、1 週間程度で提出してくれということだが、国会で予算がいつ通るのか分からない状況でもあるので、本県は 1 月 13 日で締め切り、1 月末くらいまでには実施計画を作っておいて、いつでも出せるようにしたい。

- ・ 並行して、国と事前協議をやることになっている。早目に国と協議をして、危険なものは避けて、できるだけ安全なものをこの中に入れて、115億円の交付金をきっちりともらうようにしたい。

【主な意見】

- ・ この件については、総務部、東京事務所によく頑張ってもらった。本当にうまくいった。日頃からの人間関係の構築の賜物である。事務的な補足として、関連予算、関連法案が国会を通らないと、実際にこの交付金は交付にはならない。(知事)
- ・ ハード事業に充当できるということだが、起債を打つことは前提なのか。
基本的に起債はとばさないでほしいということである。ただ、やむを得ない場合は起債をとばしても構わないということであった。
- ・ 国庫補助事業ではなく、交付金を県の補助制度に活用するのであれば、10分の10の補助にしても構わないということか。
構わないが、この1年間だけの限定であるので、後年度のことも考えて政策の検討をお願いしたい。経済対策として実施されるものなので、早い段階で効果が現れる事業にとりかかってほしいということなので、こういったことを念頭に厳選をお願いしたい。
- ・ 各部に対して詳細な説明はあるのか。
今まで説明してきたことがほぼ全てである。早い段階から厳しく要綱を決めてしまうといけないという思いが国にもある。今も、いくらでも変えられるような状態で、逆に言うと、本県でこういったことに使ってほしいと、こんなこと使えるようにしてほしいということがあれば、要望できるようになっていると聞いている。

2 各部局等の動向について【各部局等】

政策企画部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布のうえ、各部局等より概要説明があり、意見交換を行った。

3 その他

〔知事〕

- ・ 今年は、いろいろと新しいことにチャレンジをした年だと、私は思っている。産業振興計画の策定ということで、深夜に至るまで、そして、土日も返上して、皆さんには頑張ってもらった。職員には、本当に頑張ってもらったが、その中で、そういう職員をリードしてもらった部局長の力は大変に大きかったものと思っている。中間取りまとめまで至ることができ、また、最終取りまとめに向けて、概算要求というかたちで、いろいろな具体の施策が、今、ラインアップが上がってきているところである。ここまでの多大なる指導力に対して、心より敬意を表するとともに、知事として感謝を申し上げる。
- ・ また、それぞれの部局においても、非常に、大変な業務にあたってもらった。本当に一年間ご苦労であった。来年もよろしくをお願いしたい。